

ColorFlex® L2 クイックスタートガイド

A60-1021-396 ver.1.1



A

装置のセットアップ

1. ACアダプターのプラグを ColorFlex L2 背面のポートに接続します。

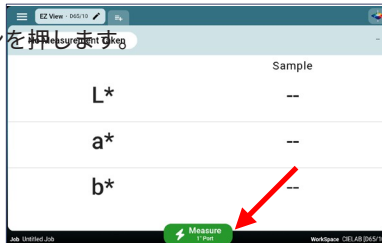


2. ACアダプターの電源コードをコンセントに差し込みます。
3. 背面のスイッチでColorFlex L2の電源をオンにします。
4. エssenシャルズソフトウェアが自動的に起動し、初回セットアップダイアログが表示されます。
が表示されます。完了したら**DONE**をクリックしてください。
5. 上記のセットアップが終わると、機能を紹介するウェルカムウィザードが表示されます。プロンプトに従ってソフトウェアに慣れてください。設定が完了すると、標準化の準備が整います。右上のHunterLabアイコンをクリックすると、いつでもウィザードを再実行できます。
6. (オプション) HDMIケーブルを使用してモニターをColorFlex L2に接続します。

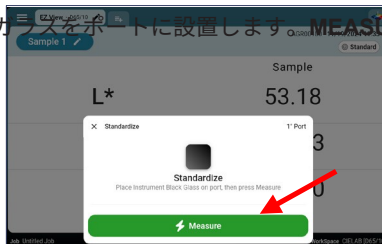
B

標準化

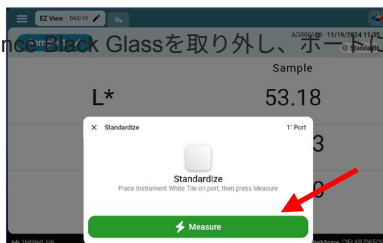
1. 画面上の**STANDARDIZATION**ボタンを押します。



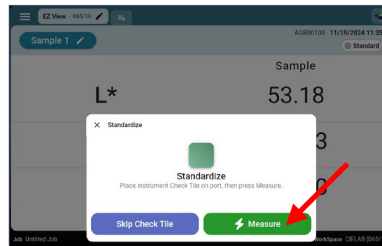
2. 標準ケースを開き、反射率ブラックガラスをポートに設置します。**MEASURE (測定)** ボタンを押します。



3. プロンプトが表示されたら、Reflectance Black Glassを取り外し、ポートに装置標準（白色タイル）を置きます。
MEASURE ボタンを押します。



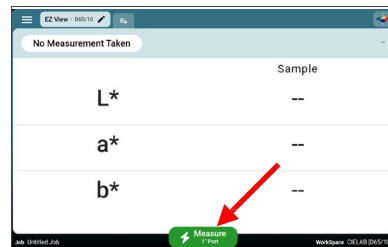
4. 計器基準（白牌）を外す。
5. 診断チェックタイル（緑色のタイル）をポートに置き、**MEASURE** を押して続行します。
診断チェック・タイル（緑色のタイル）の値は工場で入力され、タイルの裏面にも記載されています。



6. テストに失敗した場合は、装置標準、診断チェックタイル、反射率ブラックガラスのいずれかまたは両方を清掃し、再度テストを実行してください。必要に応じて、ハンターラボのサービス部門に連絡してください。検査に合格した場合は、サンプルの読み取りを続行します。
7. (オプション) **SKIP CHECK TILE**を選択すると、診断チェックタイルテストを実行しません。装置の性能に影響が出る場合があります。

C サンプルの読み取り

1. 検体を準備し、ポートの中央に置きます。**MEASURE（測定）**を押します。



新しい装置の電源をオンにすると

を押します：
ディスプレイカ EZ ビュー

ラー・スケール CIELABアブソリュー
イル/オブザーバ ト D65/10度

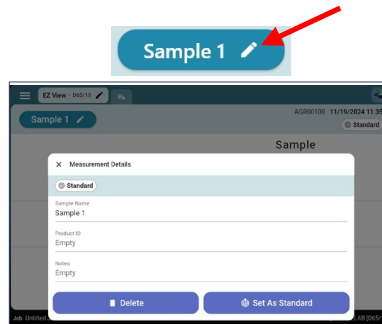
標準タイプアドホック/ワーキング
：

注：CIELAB（D65/10）とHunterLab（C/2）の2つのデフォルトWorkSpacesがロードされています。これらのワークスペースは変更できません。ただし、デフォルトWorkSpaceを編集して新しいWorkSpaceとして保存したり、既存のWorkSpaceをベースに新しいWorkSpaceを作成することはできます。

または既存のワークスペースをベースに新しいワークスペースを作成し、そこで編集することができます。

D 標準の作成

- 1.デフォルトのWorkSpace（アドホック/作業標準タイプ）では、最初の検体の読み取り値が自動的に標準として設定されます。これを変更するには、新しい検体を読み取り、検体名ボックスの鉛筆アイコンをクリックし、[標準として設定]を選択します。



E

EZビューを編集して単純な差異を表示する

1.EZビュー画面から、EZビュータブの編集アイコン



を選択します。次に

表示オプションを選択します。標準を表示]および[標準を表示]の横にあるラジオボタンを選択します。

DIFFERENCESと入力すると、簡単な違いが表示されます。

	Standard	Sample	Difference
L*	53.20	53.20	0.00
a*	-16.21	-16.21	0.00
b*	-27.19	-27.19	0.00

Buttons: Show Standard, Show Differences, Show Color Plot, Precision (2)

F

EZビューでカラースケールを編集する

1.EZビュー画面から、編集アイコン



を選択します。を選択します。

を選択します。

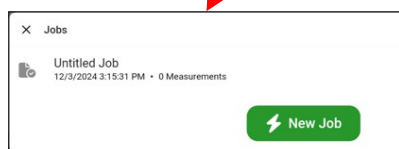
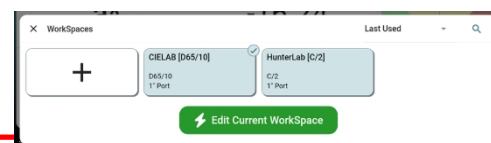
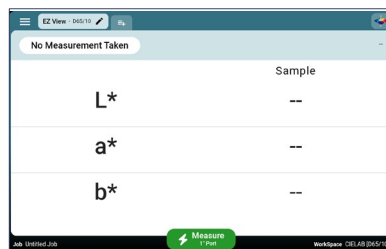
	Standard	Sample	Difference
L*	53.19	53.18	-0.01
a*	-16.25	-16.23	0.01
b*	-27.18	-27.20	-0.01

Buttons: CIE LAB (D50/2), CIE LAB (D50/2), Hunter Lab, D50, 1°

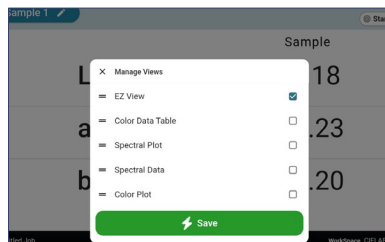
G

ワークスペース/ジョブの変更または追加

- 画面右下の **WORKSPACE** 名を押して、WorkSpace を変更または新規追加する。WorkSpaceのダイアログに従って、差分/指標、読み取りオプション、データエクスポートオプションなどを編集します。
- 画面左下の**JOB**名を押して新規ジョブを作成するか、既存のジョブをタップしてジョブ名の編集、ジョブの削除、ジョブ（.csvファイル）のエクスポートを行います。

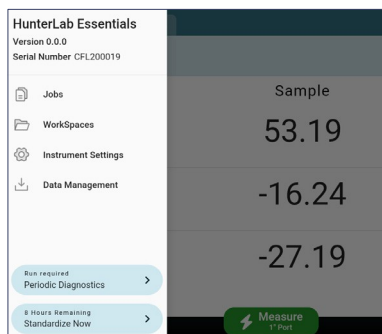


1. EZビュータブの横にある  を使用して、他のビューを追加します。をクリックしてビューを選択します。ビューを切り替えてビューを選択します。SAVEを押します。



画面左上の3本バーのアイコンをタップして、システム・メニューを起動します：

1. ジョブ/ワークスペースは、ワークスペース/ジョブダイアログを開く代替方法です。
2. Instrument Settings（装置設定） 標準化間隔の選択、ColorFlex EZ装置からの製品セットアップのインポート、日付 / 時刻の変更、言語の選択、画面の逆向き、およびセキュリティの設定ができます。
3. データ管理では、ジョブやワークスペースをフラッシュドライブにエクスポートできます。
4. 定期診断では、診断のステータスを表示し、ユーザーが診断を実行できるようにします。
5. 標準化では、現在のステータスが表示され、標準化を実行できます。



装置の詳しい使用方法については、ColorFlex® L2 ユーザーマニュアルを参照してください。

装置のメンテナンス、操作、修理に関する詳細は、support.hunterlab.comをご覧ください。